

春告草

第72号 平成29年9月6日 進路指導部発行

行事を楽しみ、受験のエネルギーを蓄える

手元にセンター試験の受験案内が届いた。来年受験する6年生には、今日の5限、6限目の時間を使ってこれを配付して志願票の書き方や今後の受験手続等について説明することになる。大学受験生ともなれば、中学受験時のようにすべて親任せにするわけにもいかないだろうから、願書の記入は勿論のこと、受験料等の振り込みも受験生本人がすることが多くなるだろう。受験勉強だけではなく、願書提出などについても計画的に手続を進めていかなければいけない。先の話になるが、合格発表後の入学手続きに関しても手続き期限を良く確認して、くれぐれも粗相のないようにしてもらいたい。合格したけれども締切日を間違えて、浪人する羽目になっては、泣くに泣けないだろう。

さて、「鷹校祭」が今週末から始まる。夏休み中から、校内や予備校・塾の講習の合間を縫って準備を進めてきたことと思う。そんな中で、あなたはクラスの一員として協力してきただろうか。受験を口実に、友達任せにしてしまったことはなかっただろうか。受験で大変なのは皆同じだ。在卒でも卒業生は「行事にはしっかりと取り組んでください」と後輩の皆さんに声をかけていた。「浪人時代は勉強しかないので息が詰まる。合唱祭や鷹校祭の行事が、受験勉強を進めていく際、良い意味での気分転換になり、勉強にも集中して取り組むことができた。」と言っていたのは、1年間浪人して国立大に進学した一期生のFさん。長く辛い受験勉強を最後まで乗り切るためには、気持ちのリフレッシュも必要だ。6年生にとっては本校最後の行事となる鷹校祭まで、あと3日。そして、来週の体育祭で、三鷹中等6年間の行事がすべて終わってしまう。受験で大変な時期だからこそ、思いっきりこの行事を楽しんでくれることを願う。これから先、受験が近づくにつれ、これまでに味わったことがないような緊張やストレスを感じることもあるかもしれない。そんな時、行事をクラスのみんなでやり切ったことが受験へ向かうエネルギー、元気の素になっていくはずだ。受験は駅伝のように、ランナーが棒をつないでいくものではないが、目を閉じれば自分と一緒に「大学入学」というゴールへ向かって一緒に走っている仲間が見えてくるのではないだろうか。是非、そんな仲間たちと最後の行事を思いっきりやり切ってもらいたい。そして、その後は受験に全力を注いでいくのだ。

受験案内に同封されている書類一式

センター試験の出願方法や出願後の手続きなどを解説した「受験案内」冊子の他、出願票、検定料の振込伝票、出願手続きのポイントをまとめた印刷物などが同封されている。志願票送付用の封筒は既卒生が使う。現役生徒は出願手続きはすべて在籍校を通して行うので使うことはない

4年生、5年生で入手したい場合は最寄りの大学でもらうことができる。国公立大学はもちろん、センター試験利用入試を行っている私立大学の窓口でも入手可能だ。



センター試験の成績はどう利用される？

国公立大学入試では、一般的にセンター試験の成績と大学ごとに行われる個別試験の成績を総合して合否が決定される。(進路指針P.12～14、P.30,31にも解説してあるので併せて読んでおくとよい。)

総合点の計算方法(センター試験と個別試験の配点比)は大学毎に決められている。配点比により、**センター重視型、個別重視型、均等型の3パターンに分かれる**が、同じ大学でも学部・学科により配点比が異なる場合もあるので、募集単位ごとに調べる必要がある。また募集時期(前期・後期)によっても配点比が異なるケースや年度によって変更される場合もある。

下表は平成30年度入試における「センター試験、個別試験の配点比率」である。紙面の都合上一部の大学・学部・学科に止めるが、配点比を知ることが受験計画を立てる際、必須の情報であることを意識しよう。

また、お茶の水女子大・理・物理・後期、横浜国立大・経営・経営・前期のように、センター試験(および調査書)のみで合否が決まる大学もある。自分の学力特性を見極めて志望先を検討することも大切だ。022

■センター重視型(センター試験の配点比率が80%以上の国公立大学)

大学名	学部名	学科[専攻・コース]	日程	比率
埼玉大	経済	経済/国際プログラム枠	前	80
	教育	学校教育教員養成[中学校<生活創造>] / 家庭科分野	前	82
	教養	教養	後	83
お茶の水女子大	文教育	人間社会科	後	82
	理	化	後	85
東京海洋大	海洋工	流通情報工	後	80
横浜国立大	経営	経営	前	89
山梨大	教育	学校教育[幼小発達教育、障害児教育、言語教育、生活社会教育、科学教育]	後	90
信州大	経法	全	前	82
	農	農学生命科	後	88

※比率欄の数値はセンター試験の配点比率(センター試験の配点) ÷ (その募集単位の満点) です

■個別試験重視型(個別学力検査の配点比率が60%以上の国公立大学)

大学名	学部名	学科[専攻・コース]	日程	比率	段階
千葉大	法政経	法政経	前・後	64	○
	教育	中学校教員養成、養護教諭養成	前	61	
	国際教養	国際教養/通常型	前	67	
		国際教養/特色型	前	67	○
	理	全	前	67	
	工	総合工[医、機、電、情、建、都、共、物、デ]	前	67	
	医	医	前・後	69	○
	看護	看護	前	67	
お茶の水女子大	理	数	前	69	○
		物	前	64	○
		数	後	75	○
東京大	文一、文二、文三		前	80	○
	理一、理二、理三		前	80	○
東京医科歯科大	医	医	前	67	○
	歯	歯	前	67	○
東京学芸大	教育	中学校教員養成[音楽]	後	67	
東京工業大	第1類～第7類		前	100	○
一橋大	法	法律	前	73	○
	経済	経済	前	79	○
	経済	経済	後	80	○
	商		前	75	○
	社会	社会	前	82	○

※比率欄の数値は個別学力検査の配点比率(個別学力検査の配点) ÷ (その募集単位の満点)、段階○印は2段階選抜実施予定

既に春告草66号などでも伝えてあるように、一橋大では次年度入試より公募制の推薦入試を全学部に拡大実施する。この為、経済学部以外の学部では後期試験が廃止となった。入試情報はこまめにチェックしよう!

2018年私大入試はこう変わる！

2018年度より23区の大学の定員増を認めないとする大学設置に関する告示が9月に改正されるようだ。これによると23区で定員が増えるのは今回が最後となる見通しだが、2016年度入試より入学定員超過率の基準が厳格化されていて、合格者数を絞り込む動きも見られる。受験生にとっては厳しい状況が続く。受験情報には無頓着にならないよう気をつけよう。2018年度私立大入試についての情報を提供する。

1. 「定員管理の厳格化」と定員増

入学定員の超過率を制限する定員管理の厳格化は次年度入試でも続く。補助金不交付の対象となるラインは、大規模校（収容定員8千人以上）で「2017年1.14倍→2018年1.10倍」、中規模校（同4千人～8千人）で「1.24倍→1.20倍」となる。このため、合格、補欠合格を抑えて発表するなど合格者の絞り込みが予想される。一方で、私立47大学の定員増（5,701人）が認可された。前年同時期（44大学 7,354人）に比べれば少ないが、それでも大規模な定員増だ。

首都圏で大幅な定員増を実施する大学を右表にまとめた。倍率緩和を期待し志願者増加が見込まれるが、定員増加率ほど合格者を出していないのは、今年度入試で実証済み。かえって実質倍率アップによる難化もあるうるので出願にあたっては注意が必要である。

大学名	2017年 入学定員	2018年 入学定員	増加数	対前年比 (%)
桜美林大	2,130	2,280	150	7.0%増
大東文化大	2,590	2,725	135	5.2%増
日本大	14,869	15,341	472	3.2%増
日本女子大	1,361	1,498	137	10.1%増
武蔵野大	2,077	2,462	385	18.5%増
明治大	6,730	7,760	1,030	15.3%増
立正大	2,355	2,565	210	8.9%増

2. ネット出願

今年度入試でインターネット出願の実施校は、全私立大の過半数を超えた。しかも、その半数は全面移行で紙の願書を廃止している。スマホで出願はできるが、要項も紙媒体は廃止し、家庭のパソコンで印刷させる大学も多い。募集要項などは印刷して間違いのないようにしたい。各家庭のパソコン環境を整備しておいてもらうよう、保護者の方にはお願いしておこう。来年度入試でも、ネット出願は小規模校を中心に続き、大～中規模校では全面移行する大学が増える。

3. 英語外部検定利用

各大学でグローバル人材育成が重視される中、実践的な英語運用能力を持つ入学者の確保に向け、従来の入試方式の中で、独自試験やセンター試験の英語の代わりに、英語4技能を測定する「英語外部検定試験」を利用する方式の導入や拡大が相次いでいる。

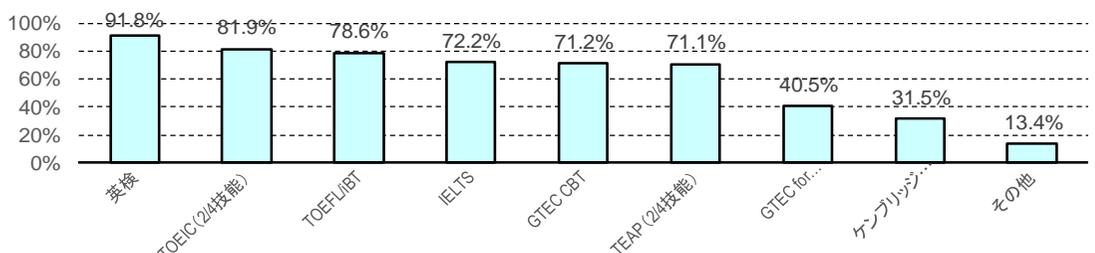
6年生は現在持っている資格で対応できる大学の範囲で考えればよいと思うが、4年生、5年生は計画的に資格取得に向けて準備を進めることも大切だ。

利用方法は大学により様々である。利用する外部検定もいろいろであるから、募集要項をしっかりと読み込み、間違いのないように準備しておきたい。

方式	利用方法
出願資格	大学（学部・学科）が指定する基準（スコア・級）をクリアしていれば出願できる。英語以外の科目を受験し、その得点で合否が決まる。（単に出願資格の場合もある。）
得点換算	大学（学部・学科）が指定する基準（スコア・級）をクリアすれば、基準に準じて英語の得点を換算する方式。その他の科目の得点と合算して、合否を判定する。
加点	スコアや級ごとに設定された得点に換算し、満点を超えない範囲で合計点に加える方式。センターしげにや大学独自で実施する英語の受験が必要である。

一般入試における外部検定採用率

※一般入試で外部検定を利用した110大学での各検定の採用率



4. 首都圏私立大の動向

首都圏私大で関係のありそうな大学をピックアップした。詳細は各大学のホームページなどで調べてください。

●学習院大

①一般入試でネット出願に全面移行し、紙の願書を廃止。／②法・経済・理・国際社会科学、および文（心理・教育）で「コア試験日、プラス試験日」を設定。募集が「1→2回」となり、同一学部・学科の2回受験が可能に。

●芝浦工業大

①センター利用方式の募集人員を増加「工162人→205人、システム理工85人→107人、デザイン工30人→36人、建築34人→44人」。／②システム理工（生命科学、数理科学）、デザイン工の全学統一日程と一般後期を2→3科目に増加する。

●中央大

理工学部のセンター利用方式で、2学科まで同時併願可（2学科目の受験料を1万9千円→1万円に減額）

●津田塾大

学芸学部（英文）で、一般A方式の英語から書き取り試験を廃止し、センター利用C方式の後期（5科目型）を新規実施する。

●東京女子大

一般入試で「英語外部検定試験利用型」を新規実施（出願資格。3教科型と同日実施で、英語以外の2科目で受験可、同時併願可で併願割引制度も導入）。ただし、新設予定の国際英語学科の場合は加点（最大20点）も行う。

●東京農業大

①農学部で生物資源開発・デザイン農の2学科を増設し、バイオセラピー学科を募集停止。／②生物産業学部（北海道網走市）で全学科の名称を変更／③農・応用生物科学・生命科学・地域環境科学・国際食料情報でセンター利用後期3科目型を新規実施。

●東京理科大

①受験生対象の給付型奨学金「新生のいぶき奨学金」を新設（採用者数100人。年額40万円を給付。昼間学部の一般入試を受験する自宅外通学予定者が対象）。／②昼間学部の一般入試で英語外部検定試験利用の「グローバル方式」を導入（出願資格。経営ービジネスエコノミクスは導入済み）。

●日本大

①一般入試出願前予約採用型給付奨学金「日本大学創立130周年記念奨学金（第1種奨学生）」を新設（募集人員は250人。年額30万円を給付。法2部以外の一般入試出願予定者が対象）。／②6学部で定員増減を実施（法1部1,400人→1,533人、法2部300人→200人、文理1,833人→1,900人、経済1,400人→1,566人、商1,200人→1,266人、生産工1,400人→1,540人）。／③N方式（学部共通日程入試）で、受験料を「医＝6万円→5万円、歯・松戸歯＝5万円→2万4千円、その他の学部＝3万5千円→1万8千円」に減額する。／④法のA方式1期で、2学科以上の同時併願が可能に（併願割引も導入）。／⑤法2部がA方式1期とセンター利用C方式3・4教科型を新規実施。／⑥商のセンター利用C方式で、5教科型を「4教科型」に軽減。／⑦工のセンター利用C方式で、5教科型を「4教科型」に軽減。／⑧生物資源科学でセンター試験利用型C方式を廃止。一方、N方式1基の実施学科を「2→12」に増やし、全学科で実施する。

●日本女子大

全4学部で定員増（家政409人→447人、文341人→377人、人間社会440人→485人、理171人→189人）を実施する。

●日本体育大

①体育・児童スポーツ教育の2学部で、センター利用前・後期を新規実施。／②一般入試・センター利用入試でネット出願を導入し、紙の願書を廃止する。

●法政大

法・理工で「英語外部検定利用入試」を新規実施（出願資格）する。

●武蔵野大

①6学部で定員増（文201人→220人、法250人→320人、経済300人→505人、人間科学341人→392人、薬145人→160人、看護120人→145人）を実施する。／②教育学部に「こども発達学科」を増設する。

●明治大

①全10学部で定員増を実施（法800人→920人、商1,000人→1,150人、政治経済1,000人→1,150人、文775人→910人、理工925人→1,065人、農520人→600人、経営650人→745人、情報コミュニケーション450人→520人、国際日本350人→400人、総合数理260人→300人）。／②国際日本の一般入試で、英語外部検定が利用可能に（得点換算）。／③商の一般入試で「英語4技能試験利用方式」を新規実施する（出願資格）。

●立教大

全学部のセンター利用入試で、新たに英語外部検定試験利用が可能に（得点換算）。センター試験の英語と比べ、高得点の方を採用する。ただし、4技能ごとに最低基準を設定。

●早稲田大

①政治経済の一般入試で、政治・経済が選択不可に。／②法の一般入試で、数学が選択可に（センター試験の得点を利用）。／③国際教養の一般入試で、英語外部検定試験利用（4技能・加点）を導入する一方、英語リスニングを廃止する。